

● 広場空間の創出 ●

市民や駅利用者に心地よく滞在していただくことを目的に、現状の駅前にゆったりくつろげる広場空間を設置。人工芝を敷き詰め、パラソル付きのテーブルやベンチなどを用意しました。

座る、くつろぐといった普段の車中心の駅前では体験できない空間を創出しました。



● 使いたくなる空間づくり ●

幅広い世代の方が使いたくなる空間を目指し、絵本や雑誌を揃えた本棚や、オセロなどの皆さんが楽しめるボードゲームを用意しました。



【テーマ】いつもとちょっと違う非日常(休日)



※昨年実施した「まちづくりワークショップ」のアイデアを重ね合わせたイメージ図

● 取組みの発信や市民の声 ●

駅前での取組みをパネルブースで発信するとともに、来場者に対して社会実験に関するアンケートを実施しました。



計画段階から継続して市民に関わってもらうため、昨年のWS参加者を対象に、まちなか見学ツアーと座談会を実施しました。



● 非日常を演出 ●

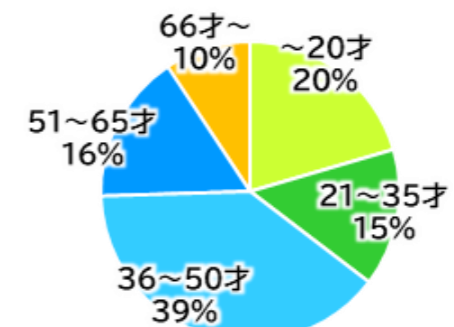
平日に利用する駅前とはちょっと違う、非日常的な時間を過ごすために、キッチンカーや飲食ブースの出店を実施しました。出店事業者と市民との間に会話が生まれ、ベンチや芝生に座って食事を楽しむ姿が見られました。



● 市民の声 ●

◆ 来場者アンケート(N=200)

Q.年齢



来場者の年代は、「36才~50才」が39%と多かったが、「20才以下」が20%と若い世代にもたくさんご来場いただきました。

Q.本日の社会実験をどのように感じましたか。



本日の社会実験に「満足」「普通」と感じた人が98%で、一定の評価を得ました。

Q.将来、駅前に芝生などの広場空間があれば、利用したいと思いますか。

どちらでもない 7%
利用したくない 0%



今後も芝生などの広場空間を「利用したい」が93%と多く、「利用したくない」は0%であり、広場空間のニーズが確認できました。

Q.広場空間の広さについて、どのように感じましたか。

※今回の広場空間は約500㎡

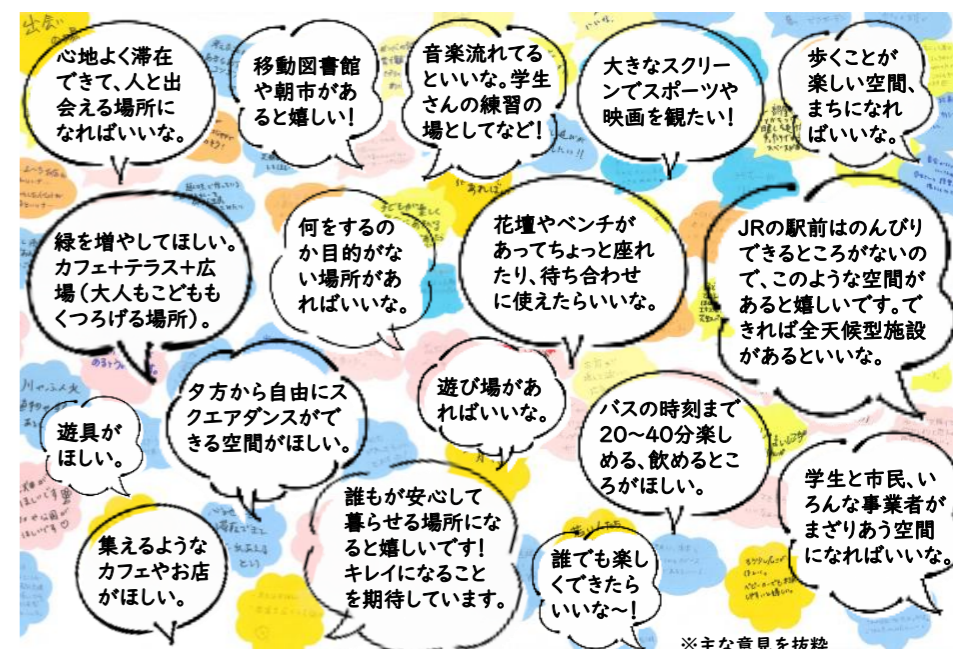
大きすぎる 3%



「小さすぎる」という声が64%と多く、「丁度良い」と答えた人も33%おられました。

◆ 来場者の声

Q.駅前が「こんなふうになったらいいな」を教えてください。



※主な意見を抜粋

● 駅前のにぎわいの変化 ●

普段の駅前広場は、車道が大半を占める車中心の場所となっており、滞留する人々の姿はほとんどありません。



社会実験時

芝生広場の創出により駅前が自由に滞在できる空間となり、来場者が思い思いの過ごし方をされていました。芝生で寝転んだり、大縄で体を動かしたり、楽器を演奏したり、普段の駅前ではできないことを楽しむ姿が見られました。

